

第19巻 PDF 読本



予讃線（高松～宇和島）

本四備讃線（岡山～茶屋町～坂出・宇多津）

宇野線（茶屋町～宇野）

内子線（向井原～伊予大洲）

2024年8月15日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 宇野線（岡山～茶屋町）、予讃線（高松～坂出）	5
第2章 予讃線（観音寺～今治）	17
第3章 予讃線（今治～伊予長浜）	28
第4章 予讃線（坂出～観音寺）	53
第5章 本四備讃線（茶屋町～児島）	63
第6章 予讃線（伊予長浜～宇和島）	70
第7章 宇野線（茶屋町～宇野）	90
第8章 内子線（向井原～伊予大洲）	101

宇野線（岡山～茶屋町：14.9 km）

宇野線（茶屋町～宇野：17.9km）

本四備讃線（茶屋町～児島：12.9 km）

瀬戸大橋（児島～坂出：22.7 km） 電車移動

瀬戸大橋（児島～宇多津：18.1 km） 電車移動

予讃線（高松～宇和島：297.6 km）

内子線（向井原～伊予大洲：34.7km）

※内子線とはネットによると、内子駅から新谷駅までの5.3 kmの区間とのことであるが、本書では向井原駅から伊予大洲駅までの34.7 kmの区間を内子線と見なし執筆した。

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 14 弾目として、山陽本線や土讃線などに接続する、岡山県・香川県・愛媛県を走る、予讃線などの旅（営業キロ 378 km：除く瀬戸大橋乗り鉄分）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 28 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。〈2012 年 8 月～2024 年 8 月で踏破〉

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真を取りながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第8編（日本横断歩き鉄の旅）

予讃線・宇野線・本四備讃線



2021年1月10日 樫原 勉

第1章 宇野線（岡山～茶屋町） 予讃線（高松～坂出）

第1節 旅プラン

第335回目のウォーキングは、平成24年8月14日（火）実施。夏季休暇を8月11日（土）～8月19日（日）まで取得。このうち、8月11日（土）～8月16日（木）は香川県の実家で墓参り等。

○8月11日（土）は、ひかり475号（新横浜発14時22分）で長男家族と実家に向う。長男は品川から、長男の家族は名古屋から合流。しかし、大雨の影響で名古屋の手前の三河安城駅で1時間位新幹線が停車する。その関係で実家には、21時半頃の到着となる。

○8月12日（日）は、3年9組同級会（ロイヤルパークホテルにて）を43年振りに開催する。参加者は15名と前回の30年振りに比べ12名の減となる。

○8月13日（月）の午前中は実家の墓参り。午後は長男家族と家内の実家で両親の新盆。夕方、くら寿司で会食後、実家で花火。



○8月14日（火）は長男家族を岡山駅まで出向き見送り、その後、後述の通り第335回ウォーキング（岡山～茶屋町）。高松駅で連絡線うどんを正味し、岡山駅の新幹線ホームまで見送る。のぞみ126号（岡山発13時23分）で長男家族帰る。

○8月15日（水）休養、家内と88番札所大窪寺参拝。

○8月16日（木）のぞみ18号（岡山発10時49分、新横浜着13時54分）で自宅へ。



第2節 8月14日(火):岡山～茶屋町 曇り

岡山(13:35)～大元(14:17)～備前西山(14:55)～瀬尾(16:07)～
備中箕島(16:42)～早島(17:24)～久ヶ原(17:47)～茶屋町(18:21)

2012年8月14日(火)13時35分、曇り空の中を岡山より茶屋町に向かいウォーキング開始。瀬戸大橋線(岡山～児島)は宇高連絡船の廃止に伴い、茶屋町＝児島＝坂出と開通した。それまでは、宇野線で岡山＝茶屋町＝宇野と続いていた。宇野からは連絡船で高松まで繋がっていた。瀬戸大橋線の開通により、宇高連絡船は廃止となった。今は、宇高国道フェリーが宇野港と高松港を結んでいるのみである。今回の歩きは四国路線の鉄道つたい歩きへの第1歩でもある。



岡山駅



今日は曇り空のため歩きやすし。13時47分、桃太郎の下水蓋を撮影。長男家族を見送る際、大元駅のポジションを頭に入れていた関係で、何人かの人に確認のため路を聞いたが、比較的スムーズに到着できる。



最初の大元駅には14時17分到着。暫く高架が続く。その下を歩く。14時45分、高架が終了し、通常の鉄道の位置となる。14時48分、西市踏切を横切り、鉄道の右側に出る。その先に備前西市駅（無人駅）があった。駅舎名を見つけるのに苦労する。駅から20m位歩いた先で「備前西市駅」と記した活字を14時55分見つける。15時12分、児島23km、鷺羽山26kmの道路標識を見つめる。高架の道路をJR線と思い、方向性を誤りそうになる。しかし、長男家族を送る際、電車の中で見たヤマダ電機の看板が誤りを阻止してくれる。15時17分、万歩計で219歩ある相生橋側道橋（猿川？）を渡る。





備中箕島駅

妹尾（せのう）駅には16時7分到着。16時42分、墓地が駅舎近くにある備中箕島（みしま）駅には16時42分到着。駅近くには正福寺があった。盆の関係で墓参りの人達と対面する。16時45分、箕島踏切を横切り、鉄道の左側へ。直線のため1.7km先の駅舎らしき風景が見える。鉄道に沿って歩くが、段々とJR線と離れる。16時55分、上りのマリンライナーが数分停車の光景に出くわす。時間調整なのか、離合のためなのか定かではないが、500m位先に早島駅を見つける。電車がそこに止まるのを見て確認できる。17時13分、早島駅近くで畳表の早島の看板を見つける。



早島駅



早島駅の近くまで行くが、鉄道の左側では早島駅には行けず。17時18分、六の割踏切を横切る。200m位行き過ぎていた。早島駅には17時24分到着。この駅前には、老木があり、皇太子殿下御誕生奉祝記念（昭和9年3月）と記した石造があった。



早島駅



久々原駅

17時47分、久々原（くぐはら）駅に到着。18時6分、茶屋町第一公園前（倉敷市）を通過。この公園前で小学生に挨拶される。18時15分、香川県が軸であるマルナカ茶屋町店に到着。その隣には、ジュンテンドウ、スーパードラッグひまわり、エブリー（フードコミュニケーションズ）等の大型店舗があった。その先に茶屋町駅（18時21分）があった。駅前にはサマータイムと題する作品があった。



茶屋町第一公園



茶屋町駅



18時26分発マリンライナーで高松駅（19時2分到着）へ。高松から岡山駅までの運賃は、1,470円。茶屋町から高松までの運賃は1,140円だった。19時40分頃、家内と琴電の高田駅で待ち合わせる。三木のマルナカで買い物をして、実家には20時頃到着。実家では

母親が中日＝巨人戦（9対0で巨人大勝。6.5差となる）を大きな声で聞いていた。その関係で、電話を掛けるが応答なし。母親は上機嫌であった。夕食は、母親、家内、私の3名で。本日の営業キロは14.9km、万歩計は31,346歩であった。本日は半日のコースであったが、時間を有効に活用でき、終始曇り空のため歩きやすく（ペットボトル1本で足りる）、意義ある一日であった。四国への第一歩を踏み出したからでもあろう。これから時間を創り、JR四国の鉄道に挑戦したいものである。そのような気持ちにさせる一日でもあった。

第3節 12月29日（土）：坂出～高松 晴れ

坂出(8:36)～八十場(9:33)～鴨川(10:01)～讃岐府中(11:01)～
国分(11:35)～端岡(12:46)～鬼無(13:45)～香西(14:33)～高松(15:50)

第340回目のウォーキングは、平成24年12月29日（土）、年間営業キロ500kmの突破もあり、瀬戸大橋線の坂出＝高松間の21.3kmに挑戦する。年末年始の休暇（12月28日（金）～1月3日（木））を活用して。当然今年の締めとなる。終始温暖な一日で歩きやすし。琴電井戸駅発7時33分の電車で高松築港駅へ。JR高松駅でマリナーライナー14号（8時22分）に乗り、坂出駅（8時36分）へ。乗り継ぎ時間の関係から、朝、高松駅で「連絡船うどん」は断念する。窓から本日歩く道筋を見ながら坂出駅に向う。坂出駅前をカメラ（8時41分）に収め、八十場（やそば）駅を目指す。



琴電井戸駅



高松駅 坂出駅

高松駅への方向性を見極めるのに数秒要するが、幸いなことに太陽の位置で方向性に確証が持てた。8時51分、坂出市立坂出中央幼稚園があった。隣接して小学校または中学校があった。高架した鉄道（左側）の下に沿って歩く。9時5分、高架した線路は終了し、通常の線路状況となる。9時6分、県道33号線（高松善通寺線）に合流する。高松・坂出市街・王越の道路標識がある。9時23分、七十九番高照院の案内標識あり。



坂出駅から10分位



県道33号線



八十場駅



八十場駅には9時33分到着。近くには白峰宮参道口があった。9時42分、高松19kmの道路標識あり。鴨川駅には10時1分到着。10時5分、山間に五色台が見える。道路に沿って綾川があった。10時36分、猿川大橋（綾川：189歩）を通過。

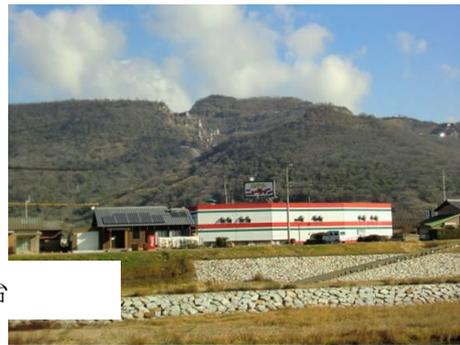


鴨川駅

10時45分、昼食としては早い、「まんなか」という手打ちうどん店できつねうどんを頂く。時間帯が中途半端のため、お客は誰もいなかった。ただし、先客があったようだ。朝高松駅で朝食代わりに食べようと予定していたが、高松駅でダイヤの関係からパスしたからだ。ここのうどんもこしがあり美味しく頂く。11時1分、讃岐府中駅に到着（道路を回る込む格好で）。この駅は道路から5m位上がったところにあった。



五色台



まんなか



讃岐府中駅



11時30分、坂出市から高松市となる。この市境で交通事故の現場があった。11時35分、国分駅に到着。駅前の看板には、四国のみちとして、「五色台へんろみちコース」と「水辺のみコース」があった。11時40分、四国八十番別格本山「讃岐国分寺」があった。



国分駅

ここで15分位散策・参拝する。この寺は来年で開設1200年となるとのこと。寺内には、七福神やミニ八十八ヶ所があった。仏像の名が真言宗のお経の中にあるのに驚いた。



七福神



ミニ八十八ヶ所



12時18分、遠く円錐形の4つの山を見つける。12時31分、百福通りと県道33号線との交差点にある国分町端岡（はしおか）を通過。12時35分、高松10kmの道路標識前を通過。端岡駅には12時46分到着。



この駅の先の交差点（県道33号線）は国分町新居であった。日新タクシーがあり。12時55分、1週間位前に事故にあったと思われる猫の死骸があった。この近郊は西大谷という地名であった。13時11分、直径が200m位のため池が鉄道に沿ってあり。直ぐ近くの道路は、衣掛郷東線（高松市鬼無町）とあった。



端岡駅



ため池

13時17分、観音踏切を横切り、再度県道33号線に戻る。13時33分、強風で帽子が飛ばされる。運良く道路でリカバリーできる。13時34分、県立高松西高校前を通過。13時45分、盆栽の里である鬼無駅に到着。



鬼無駅



14時6分、宮脇書店香西店があった。14時18分、240歩ある香西橋（本津川）を渡る。ここで、JR線の陸橋が見えず不安となる。一瞬道に迷ったのではないかと錯覚する。通行人にお尋ねし、不安を解消できる。県道33号線のファミリーマート交差点から南に400m位行った先にJR線があった。香西駅には14時33分到着。



木津川



香西駅



14時50分、道路下にJR線がある。鉄道の右側に出る。15時2分、鉄道下を潜り、JR線の左側となる。瀬戸大橋通りを歩く。15時10分、219歩ある香東川（香東橋）を渡る。15時50分、高松駅に到着。16時、高松駅にある連絡船うどんを頂く。本日2度目のうどんである。



郷東町



高松駅

琴電高松築港駅 16時8分の電車で実家へ。実家には16時58分到着。本日の万歩計は42,672歩であった。充実した一日であった。



連絡線うどん 高松築港駅